

大阪市立東三国中学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】
実施報告書（補足説明資料）

本校では、「令和元年度における校内アンケートで『授業がわかりやすい』と答える生徒の割合を全体の73%以上にする」、「第2学年において漢字検定受検にむけ取り組み、生徒の学習意欲向上と自信につなげ、基礎学力定着の一助とし、漢字検定の合格率、全国学力・学習状況調査における漢字正答率を向上させる」を年度目標とし、年度目標に応じた事業効果を測る指標として、「漢字能力検定受検に向けて、演習問題を配布し演習させる。漢検合格率を昨年度より向上させる」ことを設定した。

上記を達成するために、以下の1つの取組を行った。

1. 取組内容（1）について

1-1. 取組を実施する必要性

淀川区学力向上支援事業「漢字名人育成計画」の活用し、中学校2年生を対象に漢字能力検定受検に向けて、学習に取り組むことで、学習意欲を高め、基礎学力向上の一助とすることできる。

1-2. 取組を実施することにより期待できる効果

第2学年において漢字検定受検にむけ取り組み、生徒の学習意欲向上と自信につなげ、基礎学力定着の一助とし、漢字検定の合格率、全国学力・学習状況調査における漢字正答率を向上させることができることを期待できる。

1-3. 具体的な実施内容

①漢字の演習問題集の活用

漢字能力検定受検に向けて、演習問題を配布し演習させる。漢検合格率を昨年度より向上させる。

1-4. 取組に対する達成状況（A～D）及びその評価理由

区の支援を受け、第2学年において1月末に漢字検定受検を実施した。校長経営戦略加算予算で漢検問題集を200冊購入し、検定合格をめざして取り組みを行った。生徒の習熟に応じて級数を選択し取り組み、基礎学力定着の一助となった。高校レベルの受検をする生徒も1割あり積極的に学習に向かう姿勢が伺えた。漢検の合格率は68.8%となり、昨年を大きく上まわった。高校レベルの準2級では75%の合格率だった。

以上の成果から、A評価とした。

2. 総論

2-1. 年度目標の達成状況、総評

漢検の合格率は、昨年度から大幅に向上した。演習問題集を一人一冊持たせて、受検をする意識をしっかりと持たせ、漢字検定に向けた学習に取り組ませることができた。

以上の結果から、年度目標に対する達成状況を「A」評価とした。

2－2. 学校協議会における意見

本年度の学校の自己評価結果は妥当である。具体的な施策に取り組み、課題を明確にしながら、適切な教育活動が行われ成果をあげてきている。

